

JCHOりつりん病院看護師クリニカルラダー

段階	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
経験年数目安	1年目	2・3年目	4～6年目	5～8年目	6～10年目
組織役割	新人	チームメンバー	プリセプター / リーダー	実習指導者	ファシリテータ (管理職補佐)
統合的HICの目標	指導の下で安全な看護ができる	地域における自施設の機能を理解できる。	地域医療および地域包括のチームの一員として、患者および家族・地域のニーズに生活の上のニーズに対応するために積極的に問題解決に参画できる。	患者および家族の地域における生活上のニーズを把握し、医療者のニーズと統合したケアを提供するためにリーダーシップが発揮できる。	地域関連施設と連携を図り、ケアを継続できる。
各レベルの到達目標	指導を受けながら基本的援助が安全に行える。	看護過程を踏まえ、個別的ケアが実践できる。	自ら状況を判断し、対象に適した看護が実践できる。	自分自身を成長・発展させるための自己啓発ができる。	医療チームと連携を図りながら看護実践ができる。
	チームメンバーの役割を知り責任を果たすことができる。	優先度を判断して看護実践が行える。	他者に教育的・指導的に関われる。	看護単位における教育的役割がとれる。	医療チームにおける教育的役割ができる。
	看護手順を参考に、または先輩の指導を元に安全に看護技術ができる。	受け持ち患者さんについて看護実践が行える。(複雑な症例を除いて)	複雑及び介入困難な症例についても看護実践が行える。	看護単位の課題を明確にし問題解決のために主体的に行動できる。	部署における課題を明確にし、目標を示しながら行動できる。
	先輩の指導を受けながら、受け持ち患者さんに看護実践が行える。		看護単位においてリーダーシップが発揮できる。	看護の質の向上に向けて専門性を追求した研究に取り組める。	
情報収集	指導を受けながら看護基準をもとに定められた形式で情報収集ができる。	患者さんの状況を判断し、意図的に情報収集ができる。	患者さんの変化を予測し、家族や社会的背景についても意図的に情報収集ができる。	問題の領域に的を絞り、選択的に情報収集できる。	個人を多角的な視点で捉え情報収集できる。
		収集した情報から必要な情報をチームメンバーに伝達できる。	他の医療チームからも意図的に情報収集ができる。		
看護の展開	指導を受けながら受け持ち患者さんの看護問題をあげることができる。	情報に基づいて分析し、看護問題を明らかにできる。	潜在する問題、予測される問題を明確にできる。	多様なアプローチ(紹介・相談・医療チームの協力体制の確立等)を組み入れた看護計画を立案できる。	多様なアプローチ(紹介・相談・医療チームの協力体制の確立等)を組み入れた看護展開のモデルとなる。
	指導を受けながら受け持ち患者さんの看護計画を立案できる。	問題をチームメンバーに伝達できる。	問題を医療チームに伝達できる。		
		優先度を考慮して、看護問題に即した看護計画を立案できる。	複雑なニーズを持つ患者さんの看護計画が立案できる。		
			医療チームの協力を組み入れた看護計画を立案できる。		
実践と評価	指導を受けながら受け持ち患者さんの看護計画に沿ってケアができる。	看護計画に沿ったケアが実施できる。	資源を効果的に活用して個別的看護ケアが実施できる。	多様なアプローチを組み入れた看護計画にそってケアが展開・実践できる。	倫理的視点での看護実践を指導できる。
	指導を受けながら看護手順やマニュアルに基づいて安全かつ正確に看護技術が実践できる。	患者さんの症状や反応を観察し、異常について報告し対処できる。	一般的な看護技術が習熟している。	看護実践において創造性と刷新性を発揮できる。	患者の理解と、患者・家族との複雑な人間関係確立の役割モデルとなる。
	指導を受けながら定められた形式に沿って記録することができる。	看護実践を正確に記録できる。	問題解決過程がみえる記録ができる。	看護実践において役割モデルが遂行できる。	チーム医療における看護過程の展開を指導できる。
	患者を観察し、異常を報告できる。	支援を受けながら緊急時の対応ができる。	緊急事態を予測して対応できる。	患者さんの反応を含めて、提供したケアについて質的にも量的にも評価し、自他ともにフィードバックできる。	専門的・高度な看護実践の役割モデルとなる。
	緊急時、指示を受け行動できる。	患者さんに行ったケアの結果を端的に報告できる。	医療チームメンバーと協力し、患者さんの経過をアセスメントできる。		急変時の適切な看護処置の判断と迅速な対処を指導できる。
	患者さんに行なったケアの結果を報告できる。	患者さんのケアに対する反応を評価し、記録できる。	看護過程の展開について評価し、その結果を他の看護師と共有できる。		
	指導を受けながら、ケアについての妥当性を評価できる。	患者ケアについて、妥当性を評価できる。	緊急事態にリーダーシップを発揮し、迅速に対応できる。		
役割遂行	病院の理念、看護部の方針、病棟目標を理解し、個人目標を設定できる。	自己評価を元に個人の課題を明確にできる。	部署の目標を達成させるために上席者とともに活動できる。	看護部、看護単位内の方針に沿って、業務の推進役になれる。	部署の課題を明確にし、目標を示しながら行動できる。
	看護単位の特殊性と業務内容について理解できる。	職場の問題について情報交換し意見が言える。	勤務時間内の患者さん全体に注意を払い、他のスタッフをサポートできる。	委員会活動の推進役になれる。	他部門・他職種とのコミュニケーションを取りながら、協働して看護業務を行える。
	先輩の指導のもとに安全に看護業務を遂行でき、チームメンバーとしての役割がとれる。	一連の看護業務が遂行でき、必要な報告・連絡・相談ができる。	病棟内の組織活動を意識しながら、日々の業務に関して建設的に意見を述べることができる。	看護単位の取り組みについて推進役となり、スタッフを指導・フォローできる。	院内外の保健医療福祉のチームと連携し患者や家族の状況に応じて適切な看護サービスの提供と評価ができる。
	看護部の方針、看護単位の目標を知り、その達成のために活動に参加する。		看護単位内の係り活動に積極的に参加する。	常に患者さん全体、スタッフ全体を把握して行動し、指示できる。	患者ニーズとスタッフの能力を考慮し管理業務代行ができる。
	看護単位の特殊性と業務内容について説明できる。	個人目標を明確にし、その達成のために自主的に行動できる。	自己評価すると共に病棟目標についても適切に評価できる。	患者ケア、看護単位の運営、他部門との連携について看護師長に問題提議し、積極的に意見を述べ行動できる。	管理上の問題点を発見し、建設的に意見するとともに、師長・副師長と相談しながら対処することができる。
	目標管理を理解し、個人目標の立案ができる。	看護単位内でおきた問題に対して必要な報告・連絡・相談ができ、情報交換、意見交換し対処行動がとれる。	部署の目標を達成させるための中心的役割を果たすことができる。		院内、看護部・病棟内の委員会活動の推進役になれる。
	他部門の所在と主な役割について説明できる。	先輩と相談しながら関連部門と連絡がとれる。	スタッフの動きに注意を払い、上司に相談しながら指示や調整ができる。		
			病棟内外の組織活動を意識しながら、日々の業務に関して建設的に意見を述べることができる。		
経営参画	看護単位内の環境・物品について理解し、気づいたことを報告できる。	環境、物品管理に対して安全と経済的側面に注意を払い意見を述べることができる。	環境・物品管理について問題提起ができる。	看護の質向上・業務改善への取り組みに対して指導ができる。	看護の質向上・業務改善への取り組みに対して指導・支援ができる。
	看護業務活動における経済的側面に注意を払うことができる。		環境・物品管理について創造的な意見が述べられる。		
安全管理	医療安全管理マニュアル、感染防止対策マニュアルに沿って実施できる。	医療事故防止・感染防止対策について情報交換し適切に対処できる。	医療事故防止・感染防止対策について問題提起ができる。	医療事故防止・感染防止対策について組織的な取り組みへの参画ができる。	医療事故防止・感染防止対策について組織的な取り組みの保守・改善ができる。
			医療事故防止・感染防止対策について有効な対策が述べられる。		
防災対策	防災対策について理解できる。	緊急、災害時に適切に対処しメンバーシップがとれる。	緊急時・災害時にリーダーシップが発揮できる。	緊急・災害時の状況を分析し評価できる。	緊急・災害時の状況を分析し、組織的な取り組みへの参画ができる。
	災害対策について以下が実施できる。①通報・連絡②避難誘導③初期消火④非常持ち出し				
自己教育	所属部署における特殊性を理解し、自主的な学習ができる。	自己の学習課題を明らかにし、目標を持って院内外の研修に参加できる。	継続的な学習テーマをもって自己研鑽できる。	学習成果を後輩の指導・育成に活用できる。	部署における教育的役割がとれる。
	積極的に他者の指導を受けることができる。	先輩の指導を受けながら、後輩及び看護学生に関わることができる。	自己の学習テーマに関する研修会・学会等に自主的に参加し、学習を深めることができる。	臨床指導についての学習の機会を持ち、教育的視点を養うことができる。	目標管理を理解し、看護実践能力開発に活かす方法を見出すことができる。
	職場内の教育プログラムを理解し、目標に沿って学習できる。	学習課題についての文献学習を自主的に行なえる。	スタッフ及び看護学生に対し、主体的・教育的に役割行動が取れる。	自己の実践能力を高めるための課題に取り組み、その結果を有効に活用できる。	教育的視点で、学生指導を担当するスタッフへの支援・指導ができる。
	職場内の学習会に積極的に参加できる。	事例をまとめ報告できる。			
自己教育・研究能力	学習方法や疑問点について、自主的にアドバイスを求めることができる。				
	職場内の学習会や院内研修の学び、患者ケアに関わる体験を同僚と共有できる。	援助を受けながら、プリセプターとしての役割行動がとれる。	プリセプター/リーダーとしての役割行動がとれる。	看護単位の教育プログラムに積極的に参加し、指導者としての役割がとれる。	スタッフ個々の能力に応じた技術指導ができる。
		指導を受けながら後輩が必要な知識と技術を習得できるように援助できる。	看護単位の教育プログラムに積極的に参加できる。	院内・外研修で学んだことを現場で実践し、評価・考察することができる。	役割を担うスタッフの支援ができる。
					能力開発・キャリア開発を主体的に行える。
					リーダーおよび臨床指導者への指導ができる。
					看護単位の教育プログラムの計画立案・実施・評価ができる。 スタッフ教育について師長・副師長に自主的に協力できる。
学生指導	臨床実習に協力できる。	学生の実習目標と計画を確認し、臨床実習に協力できる。	学生の実習目標と計画を確認し、臨床実習に協力できる。	実習場面やカンファレンスでの適切な助言ができる。	実習場面やカンファレンスでの適切な助言ができる。
				実習指導要綱を理解し、看護実践の指導ができる。	看護教員との連携を密にし、学生個々の実習計画の調整ができる。
	看護研究の必要性を理解できる。	研究の意義と目標を理解し、指導を受けながら、研究チームの一員として研究活動ができる。	研究のプロセスを理解し、看護研究活動でリーダーシップがとれる。	看護研究を通して看護実践を深めることができる。	看護研究のアドバイザーとしての役割が果たせる。
研究活動			臨床場において研究に繋がる問題意識を持つことができる。	看護研究の結果を臨床で応用できる。	
			研究成果を看護実践に活かすことができる。	看護研究のアドバイザーとしての役割が果たせる。	